

水源禪師法話集 58

(2016年9月17日 大阪合宿1日目)

2017年1月19日

一乗禪の会



目次

水源禅師法話	1
ビルカバンバの瞑想会.....	1
孫悟空、西遊記の最大の教えは「慈悲」	4
お釈迦様の八正道、「正しく観る」とは?	5
今、外的エネルギーを受けている太陽系、地球もその真っ只中	7
真実は隠されている、真実はこの「体」でしか開かない（お釈迦様の四念処）	8
質疑応答	10
瞑想の最初は肛門をぐっと締め5秒止め、そしてゆっくり吐く、これを続けて5回....	10
慈悲を育てていくにはどうしたら良いか?	11
二つの太陽、ヴァーナルシステムによって様々な異常をきたしている現在の地球.....	13
ファティマの予言を超える、宇宙の神髄は慈悲そのもの、観音様	16

水源禪師法話

ビルカバンバの瞑想会

じゃあ、瞑想についてのお話から始めようかな。それから、今回、エクアドルのビルカバンバで…ゆっくり座ってくださいよ。気楽に、お話ですから楽しく。ビルカバンバで、昨年よりちょっと、瞑想について少し指導して、今年もまた私を待っていて。で、まあエクアドルで最初かな、今回お坊さんが刑務所で瞑想をしたのですね。大体男性 50 名、女性 20 名。やっぱり瞑想というのは自分のものではなく、人を如何に生かすかという事になると思うのです。それで、そういうカソリックの国で、全くその仏教的な事は知らないし、もちろん、お釈迦様のお言葉は一つも使えないし、言ってもチンプンカンプンになりますから、結局、聖書ですね。聖書からいろいろお話をとって、如何に心を浄化していくかというお話をしていたのですね。で、やっぱり、キリスト様の心ですね。を話せばよく分かるわけです。愛ということ知りたいという事で。

愛という事は、伝説というか私の直観では、キリスト様はインドで修行されて、そしてその後何故か仏教を学んで中近東に帰って行ったと。私はそう思っていたのですね。ずうっと私個人で調べていたら。そして 1980 年代だったかな、ダライラマ法王がジョン・ポール・セカンド(ヨハネ・パウロ2世)に、「実はあなたの先生は、私の所で修行したイシャーという法名を持っています」と。それで今回も正式にインド政府が、実はキリストはインドのムンバイに来て、最初ヒンズーを勉強して、彼の名前は全能の神という、あちらではデーバとってよく使うのです。神という。だから、全能の神という名で修行してその後、ラダックに行ったという事がインド政府では正式にもう発表しています。で、私は直感的にこの方は、ブラフマビハーラのメッタ、カルーナを完全に完成された方ではないかな？と思って。

で、仏教のそのお釈迦様の中で最も大切なところはやはり四無量心、またはブラフマ・ビハーラ(四梵天住)という愛と慈悲とそれから歓喜とそれから静寂と。この静寂はただ静かではなく大平安の樂の、ちょっと違うのですね。体験、それを捨とか書きますけれど、これは違います、違います。

結局、インド・ヨーロッパ語から、それからたぶんアルタイ語の、そのちょうど中央アジアを通過してシルクロード。それから、中国語を通過して韓国語のウラル・アルタイ語に変わって日本のウラル・アルタイ語に伝来してしまったものだから、非常に直接的ではなく迂回しているから、非常に言葉が難解になっているわけですね。ところが、私が南方で学んだ時はですね、パーリ語、マガタ語、お釈迦様マガタ語でお話して、それで、パーリ語ですね。これはインド・ヨーロッパ語ですから、これを英語で訳した場合には、非常に明快に分かるわけですね、という風に。かといって、この中国語で書かれたものが駄目かと、そうじゃないのです。それも非常に深い意味があります。それぞれの、その国を通りながら発展して来ましたから。

ま、あんまり難しい事は言わないで…。それで、さっきお話に戻りますが、結局、愛の事について深くお話ししながら、簡単な瞑想ですね。一分瞑想、一分間瞑想。これでも、劇的な事で出来ないわけです。もちろん坐る事は出来ませんよ。その、小さい部屋に 70 名とか 50 名おりますから。その一分間だけでも静かにという事が、なかなか出来ないけど何とか頑張ってるわけですね。大体、ずうっと 12 月から 3 月帰って来るまで、ずうっと。ま、何故かお世辞か何か知らないけど、そこの方々は「あなたが来てから、この刑務所が非常に変わりました」と。で、「是非、早く帰って来て下さい」と。

ま、そういう…。それでまた、ビルカバンバという、とか、世界から人が集まって来て、これには理由があります。そこで大金持ち達が家を建てて瞑想しているわけです。で、最後に何故か呼ばれて、5回くらい瞑想会開いて、最初は40名、30名、20名、18名かな。最後はワンコちゃんも一緒になってやってくれて。で、ま、不思議な事が起こったわけですね。

その、アメリカのウォールストリートで財を成して、もうお金の世界を見てそれを全部捨てて、ビルカバンバの山で瞑想している人がいるわけです。それで、ちょっと誤解しているわけですね、般若心経の意味を。英語訳だから。それで私が、ちょっと解説するのだけでも、なかなか受け入れられないわけです。何故かといったら、彼はハーバード大学でしょ。アメリカの、まあ最高で、そこの中で最もお金儲けるゴールドマンサックスに行つて。だから、いくら先生に対してでも、なかなか受け入れられないわけですよ。

ま、それで、ま、いずれにしろ、この人は坐禅、坐禅！坐るしかない。よくよく、まあ坐るといふことで嬉しくなつて。で彼が「Good day to die」と。これはね、ジェロニモというインディアンがいるのですね。これが、絶対死なないわけです。どんなに政府の軍隊を相手にしても。で、彼がカスター隊長を撃滅させて、その戦いの時に「Good day to die」と言うわけ。良い日に…この日は私の死に、最高の死の日だ、という事でいくわけですね。いやー、生きた人間からこの言葉を聞いて、初めてだったの。「よく、おまえはこの関門を通過した」と。死という事を、まあ、超越するというわけです。これを知った場合には。だから、一切の死は恐れてないと。

それで、「実は私が皮膚ガンになった」と。「おまえ坐禅しているのになつてしまったのか？」と。で「治療も受けない」と。「どうせ人間は死ぬのだから、このまま坐禅して死んで行く」と。「いやあ、おまえなかなか良いじゃないか」と喜んでしまつて。それで、まあ1回か2回、直接、瞑想したわけですね。

それから何と、皮膚ガンが取れ始めて、たぶん死ぬはずだけでも、ピンピンして、とても楽しく私を与えた公案をやっています。それで、その娘さんも因縁によって同じ時に皮膚ガンになったわけですね。この方は、なんかケモセラピーとかやったけども、お父さんの症状みて止めて、今熱心に瞑想しているみたいです。

というのはナーマ、ルーパの、こう、お釈迦様の方法からみたら、だいたい25%がこの物体であつて、75%が名色の、その心の方なのですね。心識の識。だから、ここをしっかりと分かつた場合には、分かるというよりも、その受け入れる場合には、体も純化されて、そういうものが消えて行くわけです。たとえ過去の因縁であつても。

今から、91劫前のお釈迦様が菩薩業やっている時に、強烈な修行をされたわけです。一切、体に衣を着けず、食べ物ちっちゃい魚と牛のうんこですね。それが食料。それで、住む処は雑木林の中。そして冬になれば、昼は雑木林。で夜になれば雪の上で瞑想するわけです。瞑想というより寝ない瞑想です。一睡もしない瞑想。夏になれば逆に、暑い太陽の下で瞑想しながら。で、夜になれば熱風がそのまま吹く、その林の中で過ごす。で、汗ダクダクになると。そういう強烈な修行をしながら死が近づいたら、地獄が観えるわけです。「一体これはどうした事か？」と。「これだけ激しい修行して何故、私が地獄に堕ちて行かないか？」と。「そうか、私のやったこういう強烈な修行、苦行。これは何にもならない事な

のだ」と分かった途端に、彼は死ぬ時に天界に生まれたわけです。「禁欲、苦行と皆さんよく言うけれども、それは何の足しにもならない」と。と分かった途端に天界に生まれたわけ。

私の教えていた、このアメリカ人が今回、私がよく褒めて、「よくおまえがここまで死を恐れない」と。「そりゃあ、凄い」と。「今死んでもお前は良い所に行く」って言ったら喜んで。で、その後、一回、一緒に瞑想してあげて。で、その後ポロポロと、こう皮膚ガンが落ち始めて、段々消えて行くのですね。

その、分かると。本当に分かった時に体が浄化し始めます。で、その中で、そのアメリカのこの人が、娘さんを非常に深く愛していた。愛という事をよく知っていた。何故かと言ったら、奥さんが不思議に思って、「あなたはずっと26年間結婚して、あなたは私を本当に愛しているのか」と。「いや、分からない」と。という事は、愛という深いものは分からないけれども、嘘はつけないという愛なわけです。「あなたを愛しているよ」とか何とか、その場限りじゃなく深い心で言っているわけです。で、ま、奥さんを心配しながら、その愛という事を分かるというのは非常に難しい事。その通り。で、それで、ま、純粋に修行して行っているわけです。ずーっと。嘘つかずに。

だから私が言ったでしょ。『嘘つかずに、人の為に、真面目に』。これ三つやれば全て入ると。ところが、私達はどんな権力を持ってても、嘘つきやすい心なのですよ。もうアメリカの政治家見ても皆大変だし(笑)。日本見ても、もう偉い政治家たちがコロコロ、コロコロと嘘がばれ始めるし。まあ、それが私たちの社会になって魑魅魍魎の奥魔殿の社会だから。でも、その中で本当に純粋に生きて行くというのは非常な苦行なわけです。なかなか出来ない事なの。だから、結局こういう本当の心で娘さんを愛しているという心で、もう土台があって、それで一緒に一回坐った後でスーッと取れて行くわけですね。で、彼も分かるわけです。私からのヴァイブレーション受け取って。私じゃなくお釈迦様ですね。

孫悟空、西遊記の最大の教えは「慈悲」

ま、そういう事で、ま、今回非常に、面白く思ったのは、孫悟空という物語知っているでしょ？西遊記。その【孫】というのは孫って書くけど、けものへん書いて、あれは昔【猿】という字で、【悟】というのは、その己の悟り、空を知っていると。それから、八戒という人があるでしょ？その名前は何て言ったかな？ちょっと書き留めておいて…。書き留めておいたのだけでも…。けものへんに者と書いて【猪】があるけれども、私を良く知る、悟能。自分、私をよく知ると。【能】ですね。悟りと才能の能。

で、その、日本では河童って言っていますが、この人は中国ではあれなのです。沙(すな)の河に住む和尚さんという事なのです。ですから、さんずいに少なく書いて、【沙】和尚と書くわけです。それで、その人は沙悟浄。つまり、自分を良く、清く、清いという事を知るとい、仏教の、こう非常に絡まっているわけです。

で、何故かと言ったら、孫悟空の西遊記が何故これほどヒットしたかと言ったら、儒教と道教と仏教を混ぜて、人心を掴んでいるわけなのです。その中で最大の教えは、慈悲なわ

けなのです。その慈悲によって阿弥陀の世界に行くわけですね。だから、観音様になるわけです。観音様は阿弥陀様乗せているでしょ？

それで、その三蔵法師様がね、玄奘大師様がモデルですけれども、実在した話で。それでその方が、その妖怪の魔女が非常に悪さして、そうだけれども、この魔女を救えなかったと。で、孫悟空に「私を撃ち殺してくれ」と。「私の命を懸けて死んでこの魔女を助けに行くから」と。「私は今までお経を読んでいっぱい学んだけれど、こういう妖怪を助ける力がない。いくら読んでも。こりゃ無駄な事だ」と。つまり、お釈迦様が91劫前に一生懸命激しく、激しく行をして、寝ずの行をずうっとしたけれども、地獄に墮ちると。この三蔵法師様も幾ら教典を読んで、理解しても、こういう一人の悪魔も助ける事が出来ないと。何と情けない事。で、孫悟空に「私を撃ち殺してくれ」と。で、バーンと涙ながらに撃ち殺すわけですね。その前に、「私はあなたを今撃ち殺すけれども、これから未来10世、10の自分の輪廻を繰り返してもあなたを待ちます」と。

これには意味があるわけなのです。法随観(ダンマヌパッサナー)を修行する場合には、過去六世を観なきやいけないわけです。完全に。自分の前の6回の人生を観なきやいけない。それから未来の3つの、これからどういう人生を送るかという事も観なきやいけないわけです。それを宿命通、天眼通と言います。だから、6プラス3は9にプラス現在で10の、という事になります。

で、この人が、この三蔵法師が金棒で打たれて死んでいく時に、結局金の虫になって飛んで行くわけです。いや、綺麗ですよ。本当にいるのですよ。こういう生命体が。私がカナダでこの方を訪ねたときに(小さい時から、捨てた馬とか猫とか犬とか沢山の生命を救っている方なのですね)そこでパチッと写真を撮ったら、この映画に出て来る同じ虫を見ました。

それでまあ、それで三蔵法師がそうして死んだから、もう堅くなって、まあ石のようになったのだけれども、観音様が現れて、すっところ柳の葉を振ったら、その石がパラパラパラと落ちて、また生き返ると。まあ、あの、西遊記ですから。結局、慈悲です。

いかに慈悲を高めていくかと。これが結局、瞑想の神髄です。いくら瞑想をしても慈悲の心がなければ結局、人を救う事が出来ないでしょう？瞑想とは人を救う為にあるわけです。人を救うが故に自分が救われるわけ。全ての病が無くなります。これは本当の事です。

お釈迦様の八正道、「正しく観る」とは？

まあ、こういう事で、あと瞑想。今ただ坐って貰いましたけれども、今度、個人、個人が違いますから、インタビューに来て貰って、また指導して行きます。それから、受随観をやられる方は、去年教えた事をやってください。そのまま。それから、そのまま心随観の方はそのまま

心随観やりながら、疑問点を補足して修正して行きますから。で、初めて来られた方はまず丹田をやって、そのうちに落ち着きましたら、そのお釈迦様の四つの法門ですね。のこれの何処に進むかと。

で、この時に一番大切なのは、この教典ですね。Sammaditthi というお経 (Sammaditthi Sutta 正見経) で、正しく観ると。つまりね、八正道という事があるわけです。これによって涅槃に達すると。お釈迦様が言ったこの一つが、正しく観る。正しく考える。正しく行動する。正しく生きると。人を殺めたり、それから騙して生きるではなく、まあその自分で、そのコツコツと働いて生きるという、正しく生きるという事ですね。まあ、そういう、そして、精進、禅定、パニヤ(智慧)。それから耐えるという戒を守ると。で、これで八正道で涅槃に達すると。その最初の『正しく観る』という事を、やっぱりこれを見たら簡潔に言います。

前も何回もクサラ、アクサラと。善心、不善心という。『善心』というのは、はっきり物事を分かった心が善い心と言います。正しく知らない場合には、それ『不善心』と言います。例えば、人が沢山食べていたら、やきもち焼いて自分も食べたいと。「何とこれはおかしな人か」と。「人に分ければ良いものを」。いう見方は良くない。「ああ、おなか空いて食べているのですね」と。で、それを、じゃそれが自分が正しくそういう風に観られるかどうか。究極的には、こういうナーマ、自分の心の中の名色の行をやります。こういう風にいちいち観て行くわけです。自分の心の中を解析します。ただし、これは普通の人には出来ませんので、それでこの英文を簡単に解説しますが、この一般の考え方でどういう方向でその正しい見方が出来るのか、という事を明日でもゆっくり。じゃなければ、たくさんやれば頭痛くなるから。

この基本によって次が、私が言ったサティパッターナ(念処経、四念処経)が入って来るわけです。身随観(カーヤヌパッサナー)、受随観(ヴェーダナーヌパッサナー)、心の心随観(チッタヌパッサナー)、法随観。サティパッターナがこれに続くわけです。これが Majjhima-nikāya という中部篇の、その教典です。南伝。

だから、南伝はこう結局、インド・ヨーロッパ語で、特にシンハリ王国が潰れた時にスリランカに来て、原型がやっぱり残っているから、非常に有り難い事にこういう教典が手に入るわけです。で、また宋大蔵経、唐大蔵経でも、チベット大蔵経でも、またそれはそれで、とっても楽しく書かれています。そのお釈迦様のジャータカですね。そういう話が。で、そんなその91劫前とか500世とかそれこそ嘘だろうと。おじいちゃんとおばあちゃんは、500生一緒に。で、お父さん、お母さんもまた500生、一緒に。その私のこの500生の因縁によって今あって、1500の輪廻の今この出会いだという事もあるわけなのですから。まあ、想像を絶する、私達の常識では考えられないわけです。



今、外的エネルギーを受けている太陽系、地球もその真っ只中

何故こうなったかと言え、私たちは皆、騙されて生きているから、本当の事が見えない様になっている。何でこれだけの台風が日本に来たか分かりますか？学説では climate change 温暖化。確かに、この地球が温かくなっています。で、私が、歴史的には 0.5 度上がるのに、突然今年が 1 度上がるのです。こういう事は人間界の力ではあり得ないと。この外的エネルギーが入らなければ、やかんが沸かないわけですよ。この巨大地球が。そしておかしいと思って調べたら、mercury 水星が 2500%のエネルギー放つわけですね。それから木星が 200%のエネルギー放つと。それから海王星が 60%のエネルギー放っていると。この太陽系が何かおかしい事が起こっているわけです。結局、太陽系も大きな樽の水みたいに思えば良いですよ。それが温かくなるから、この地球もその影響を受けていると解釈する方が正しいのかな？と、私は思ったわけです。

そしたら、ある一点の方向を、結局、あのこう sky google と言って、見せないわけですね。星の一点。おかしいなあ？と思って、そして朝上がる太陽と沈む太陽が非常におかしい行動起こすわけですね。で、46 年間私カナダに住んでいて、一回も私の湖の芝が焼けた事ないわけですよ。湖の方は何とかもっているけども。で、ハイウェイの方とでも殆ど茶色に焼けてしまっている。一回もなかったのに。で、太陽物凄く強烈で、おかしいな？と。で、太陽の上がり方、それから北極星の位置がおかしく狂っていると私の目にしか見えないわけですよ。それはいつも私が、星が大好きでそれでそういう所で星を見ながらゆっくりと楽しんでいるから。

そして、あまりにも不思議だから、結局星座のね、チャートがあるわけですよ。私は星を見るのが好きだから、そういうものを持って、それで、大熊座、小熊座、ザーツと見て。そしたら、本当に違う所にあるわけですよ。つまり、北極星と地球はこう一体、北極星は動かないわけですよ。それを軸にして地球が回っているから。で、その方向と今度はちょうど 9 月来る前だから、東の位置を決めるわけですよ。磁石は駄目なのです。true north、true east、true west で、磁石は狂いますから、いつでも。一日 40 キロ今狂い始めているから。

それで、結局息子は政府の方に勤めているから、「お前その地図手に入るか」って。「入ら

ないって、お父さん。もうそういう物はもう出さない様になっている」と。「じゃあ、どうしてお前 true north 決めるの」と。「いやーコンピューターでそれを写して何とかやっているよ」って。ところが、何故か私に 46 年前の地図があるわけなのですね。私の湖の家の側の拡大地図。それで、true east、true west 合わせて、それで北極星の位置が分かっているから、北合わせる。何と、すごく狂っていた。

真実は隠されている、真実はこの「体」でしか開かない（お釈迦様の四念処）

問題は、この事を誰も言わないわけですよ。誰も。NASA の文献調べたら、「いや狂っています。10 センチ」。とんでもない話。これだけ大きく狂っているのに、10 センチという事はありません。そして調べていったら、1980 年代に NASA がニュージーランドの方に天文台造って、この地軸の位置が狂い始めているという事で、実際にやっているわけですね。で、この人が発表しようとしたら殺されたわけです。で、1986 年にフランスの学者が、これも発表しようとしたら口止めされて。という事が分かったわけ。

何故かと言ったら、その、政府のやる事は分かります。天地変動起こった場合には、ほんとに助ける事が出来ない。この前の三陸沖津波とか、もういっぺんに来ますから。

で、桜島が大爆発したのは日本では報道されないわけですね。それが外国の方からこう見て、やあ日本の朝日、読売全然発表してない。それは何故かと、非常に不思議に思って、これ嘘なのかな？と思ったら、鹿児島の方のブログ見たら、なっていると。それで世界の地球火山の報告見たら、写真でドカーンと載っているわけなの。それで、いやあ、こりゃ地震起こるよと。直観的に。これだけ激しいエネルギー体だから。すべて簡単な事。エネルギー。やかんをね、ガーッと熱すればボンとするのと一緒。それを非常に難しく言うからもう分からないだけで。そしたら何と、ボンと鹿児島爆発の後に熊本地震起こったでしょ？だからこれは、その地球的なこの大地のこのプレートという事で、みんなやっているけど、私が小さい時はそういう知識も無かったわけですよ。全く。

で、天主教のバチカンでは世界最高の天文台をアーカンソーのミズリー、アメリカ海軍本部の横に造っているわけです。これにも、この地球の今の天体と関係があるわけです。何故かと言ったら、400 年前にガリレオ・ガリレイを殺そうとしたでしょ？地球が太陽の周りを回っていると。

今からたった 20 年前、MIT の学者が、「生命体はこの地球しかいない」と。「他にはゼロだ」と。「惑星もなし」と。今はもう一切顛倒して、そのバチカンが「いや、神の力は宇宙にも生命体を創る力があるはずだから、当然の事だ」と。でも、私達が教えられた時はそんな事を言ったら馬鹿にされて大キチガイと言われたわけだったのです。今度は一切顛倒して「当然だろ」となるわけ。

私が言いたいのは結局ですね、どんな事があろうとも自分をしっかり分かった時には、それでマル、マル、マルだと。結局、ビルカバンバのこのハーバード大学のその財を成した男が「good day to die」と、そこまで到達して、あまりにもアメリカの内容を全部知ってるわけです

ね。日本の事も、もう塵一つ落とさないくらい克明に分かって教えてくれるわけです。どうい
…。でも、日本の方は全然知らない。そのシナリオで動いているわけです。でも、これをいじ
ってもどうにもならないわけです。この体制だから。本当にどうにも…。もう、皆さんがそうな
ってるから、あなた私が言ったって馬鹿にされるだけで、この世はお釈迦様言われるように白
痴状態。それでおしまい。じゃあ、どういう事が出来るかと。やっぱり、私の人生で一番の最
高のご褒美は、お釈迦様の教えで。これは間違いない。嘘なし。

その基督教の教えとキリスト様の教えとバチカン是非常に似ているけども、実は違うわけ
です。全然。Holy roman empire は3千二百年の歴史で、その拝んでいるキリスト様が来る前
はミシュラ(ミトラ)ということが実在して、この人はちょうどマリア様みたいな人から生まれて、
ちょうどイエスキリスト様みたいな事したわけです。それで、それと中近東で生まれたキリスト
様を合わせて今こうなっているけど、実は本源は違うわけ。未だに違うわけ。だから、バチカ
ンでは7人の最高の指揮者が千年経っても、二千年経っても意見が合わなければ一步も進
まない、という方式。だから、高々私たちは鎌倉時代から戦国時代の歴史の中でクルクル、
クルクル、その時代劇だから、もうお話にならないわけ。千年、二千年でも動かない。何故か
と言ったら、辿っていけばバビロンになるわけ。バビロン6千年の流れを持つから。

お釈迦様の教えはこれを実は軽く超えるのですよ。本当に軽く超える。どんなスーパーイ
ンテリジェンス文明でも心が観えない。だから私が、お釈迦様が最後に全宇宙に対して「私
は仏になった」という報告したその山が、スリランカのスリパーダにあるわけですね。で、その
日蓮宗のお坊さんが毎日トントントンと行をするのだけれども、で、私に教えてくれたわけ
です。何故か私を喜んで迎えてくれて「あそこを見て下さい」と。「あそこ、丸く緑でしょ。あそ
こ、円盤が落ちたのですよ。円盤がそこに止まっていたのですよ」と。ていうのは、そういうテ
クノロジーは過去の情報を吸収出来るわけ。再現出来るから。だから、お釈迦様が何を言っ
たかという事を吸収したいのだけれども、それは瞑想によるこのサティパッターナでしかドア
は開かないのです。

じゃあ、このドアは誰が開けられるかと言ったら、この体。でしか開かないわけです。と、こ
れ(腕をたたく)。名色。だからあなた達は非常な栄光を受けていると、今日言ったこの話な
のですけど…。これを続けてもっと解説していけばもう一晩中なりますから、まあ、こちらへん
で今日は触りとして終わって。

じゃあ後は質問形式で行きましょうか？誰でも良いです。



質疑応答

瞑想の最初は肛門をぐっと締め5秒止め、そしてゆっくり吐く、これを続けて5回

【参加者】

先程、丹田の5回の息の吐き方やったのですが、吐き切るのですか？それとも、普通に普通の…

【水源師】

あの、最初あれですね。あの、こう吸って、肛門を縮めると。そして、ゆっくりと息を吐いて行くと。

【参加者】

あの最後まで、吐ききるまでやるのですか？

【水源師】

そうそう。大きく吸って、風船みたいに膨らまして、そして、ゆっくり息を吐いて行くと。

【参加者】

息を吐き切って…

【水源師】

そう。で、またいっぱい入れて、で肛門をグッと絞って5秒間。で、後はゆっくり肛門をゆるめて、全部吐いて行くと。それ5回。その後、腹式呼吸ですね。吸って、吐いて、無理しない様に。それをやって行けば、最初、腹式呼吸で少しですけども、少ししか膨らまなくても、だんだん慣れて、私みたいにダルマさんになってしまいます。おなかがプンと出て来ちゃう(笑)。だから、まあ無理しないで、まあゆっくり、ゆっくりやって下さい。

何故これをお勧めするかと言ったら、この『膨らんだ、縮んだ』だけでズーッと単純にやって行けばね、雑念が消え始めるのです。雑念が消える事によって、体が軽くなって行きます。それから、心も軽くなって行きます。まず、その第一段階ですね。そこをまず基礎をしっかり作ってから、今度はどっちの方向に進んで法を掴んで行くかという事ですね。で、この合宿間出来るだけ質問があったらして下さい。で、自分で私の言った事を実践してみて、そして、軽やかに旨く行けばオッケー。行かなければ、話をこう聞いて調整して行ってみようと思いませんけど。はい。

慈悲を育てていくにはどうしたら良いか？

【参加者】

さっき先生が、アメリカ人が「私は愛があるのか分からない」という風に正直に答えられて。自分も、何かそういう所が、まあ、あるのですけれども、一方で先生は瞑想には慈悲が必要とおっしゃってるじゃないですか。そういう愛があるのかどうか分からないという様な人が、慈悲を育てて行くにはどういう風にしたら良いのでしょうか？

【水源師】

私も、そうなのですよ(笑)。私も結婚した時に、「本当に私は愛せるのだろうか？」と。「愛とは何だろうか」。そして、まあ最初の出会いからもう殆ど50年。「なるほど、愛というのはこういうものなのか」と。やっぱり、植物を育てるみたいにね、水をかけて、風を入れて、太陽に当てて、まあケンカもあればいろんな事があって、その中で今はそよ風のようにいてもいなくても安心して、そうかと。

その、本当の愛はこう、さわやかな広大な世界が開き始めます。やっぱり、時間が掛かる。だから、それを私も若い時知らないから、「一体この女を私は愛せるのか。愛とは一体、何なのだろうか？」。まあ、それでケンカもあれば何とかあっても、何とかかんとか。いやー…そう簡単に、その切るという事は、いやこれはダメだから、何とか何とかして。こう最初の14年間は、もう牢獄と一緒にですよ。

「何処、何処へ行く」。「何処へ行くの?」。「何時帰って来るの?」。「はい」。もう、まるで牢獄の中。薔薇とワインの素晴らしき世界かと思つたらとんでもない。牢獄の中で、「はい、はい、はい、はい」と。そのうちに少し許されて、今度 20 年。「じゃあ、少し遊んできなさい」と。30 年、「まあ旅しても良いでしょう」くらいになって…(笑)

で、そういう中で、結局女性と男性のこの不可思議な世界がこの歳になって分かり始めますね。その宇宙的な深い、道教で陰陽の世界と言うのですかね。廣大無辺な愛の世界が開き始めました。

という風な、瞑想よりも難しい心の修行道場だと私は思っています。それが時間が経って初めて分かるけれども。ところが、若き日とかもう足りないし、若い日は、何でも私は分かっているし、天下でも取るし、30 代でも何だかんだともう独善的に考えて、この頃やっと本当に、「いやあこんな馬鹿でも生かしてもらって、お釈迦様の導きを受けて」という事で、静寂といったその世界ですね。

やっぱり、結婚にも最初はその強烈な愛の世界から、慈悲の世界に入って行って、その喜びという、この喜びが結構誤解されるのだけれども。ベートーベンの世界に入って行くわけですよ。歓喜の。音楽あるでしょう? 音楽。で、その愛の世界もですね、やっぱり『ナナムスクワリー』という凄いな歌手がいましたけれど、今はスイスに住んで歌わないのですけれど。天女のような声出して、その中で一番好きな音楽は愛の祈りと。『Prays The Love』もう、若い時から聴いたのですね。その音楽。で、つい最近聴いたのですね。やっぱりその時は「ああ」と思って。今はそれを聴いたら情景が浮かんで、凄いな大世界が出始めますね。やっぱり心というのも時間が経つ事によって、その垢が取れて行くというか、もっと深く観れる様になって来ます。

結局学校でも、小学校、中学校、高校と段々難しくなっていくみたいに、全てそういう風な事で一番難しいのは、この愛を磨くという、これが私達のテーマ。だから、次の仏はマイトレーヤー。愛の仏が出て来ると。この宇宙の本源ですね。深い本源。

で、その神と私になればもう完全に決定されて、私達は創られたものであるから、それ以上は何も出来ない。いや、お釈迦様は違うのだよと。神と同じ様な心を持てますと。ただ修行して行けばという事を、凄いな事を教えてくれたわけですね。私達に。

で、一番難しいこの学校は、愛を如何に深く理解して体得出来るかという。それに時間が掛かります。やっぱり花もね、造花はすぐに出来るけど、美しい、美しい花を咲かすには時間を掛けて、こう太陽を当てて、うまい場所に、植えると凄いな豪華な花が出て来るけれども。まあ、人間もやっぱりそういう風に 50 年も掛けていけば、言葉では言えない不可思議な世界の繋がりというのが広がって来ますね。これでどうでしょう。

【参加者】

先生、瞑想に慈悲が必要だと、先生おっしゃったと思うのですが…

【水源師】

だから、結局それがあれば、自動的に肥やしになって瞑想が旨く行きます。

【参加者】

慈悲の伴った瞑想をするにはやっぱり時間が掛かるという風に考えて…

【水源師】

いや。結局それは個人的で、どんな小さい慈悲でも、それが本物であれば、それがはっきりその体得出来ればそれは非常に凄い事で、私もスペインの友人にね、「一体愛とは何なの？」と聞いたわけですよ。彼はもうキリスト教の、スペインと言え、そのパッションで、そしてたら彼が言うには、「あのね、私の甥が試験に落ちたのだよ。その時にそっと肩に手を当てて『よしよし』と、これが愛です」と。

ま、愛というよりは慈悲というかね。「あー、そうか」という風に、こう、そういう教えて貰う先生に沢山出会って、私の先生からもいろいろな話とか指南を受けて、そして慈悲という心は通度寺、お釈迦様から何代目の法主様だったかな？代忘れたけれど。私がお寺から出て来る時に、わざわざそのとっても偉い方が、出て来るわけないのだけれど、ずうっと後追って来て観音様の慈悲の心、バーッと当ててくれて。そのエネルギーというか、体で受けて。という風な凄い体験があります。

ま、そういう恵まれた中であっちのお寺、こっちのお寺とこう旅に次ぐ旅で、ずうっと回りながら、そのうちにそういう法随観に出会って、という事で。結局、純粋な心で、相手を傷つけない、労るという事を常に考えながらやっていけば、だんだん、だんだん大きくなって行くと思います。で、それに伴ってだんだん瞑想も深い分からない未知の世界が開いて来ます。

二つの太陽、ヴァーナルシステムによって様々な異常をきたしている現在の地球

【参加者】

私、カナダ合宿に行ったのですけれども、その帰り、その帰って来る時に、トロント方面に向かう時に夕焼けがこう一つ、夕焼けって普通夕焼けありますよね。で、離れてこっち側もこうピンク色なのですね。で、そのピンク色、ピンク色なのだけれど、違うピンク色で。「えー？」って、「これ何でしょうね？」って先生にお聞きしたら、、、、。何か凄い話が今から出て来るかと思うのですけれど……？

【水源師】

というのは、その今から何年前かな。あの、この方は天才的な数学者でスイスに生まれた方で現代のロシア科学院をつくった方なのですね。ここに書いているかな(ノートをめくる)……。書いてないかも分からない。まあ、名前ちょっと忘れたので……。まあ、で私が調べていたら、この方の顔とそれから彼の業績を讃えたスイス紙幣10のフランクがあるわけです。でその業績を讃えたというのは、この太陽系の軌道と何故か不思議な彗星が描かれているわけです。で、この人は1760年代だったと思うのです。非常に天才的で、で、フランスかドイツで呼ばれ

て招聘されて、だけど、あんまり認められずに Great Katharine Empress に招聘されて、ロシア科学院を作った方で、だから今ロシア、ロケット打ち上げて凄いでしょ。その下地があるわけです。

で、この方のこの 10 スイスフランクを今の政府が躍起になって隠そうとしている事なのです。何故かと言ったら、結局バチカンが何故その U.S 海軍の本部の側に天文台、図書館移しているのかと。で、そこでペンタゴンに勤めている CIA のトップだった人が隠居して、それで、同じまだ勤めてる部下に、そのアメリカではそれをトップシークレット、トップを言ったらすぐ刑務所に行くか、反逆罪で大変な事になるから、「私が言った事が正しかつたら、ウインクしてくれ」と。「もし正しくなかったら、目を開いてそのままにしてくれ」と。

で、その友人の家の高さがだいたい海面より何尺までの高さっていう事が分かっているわけ。私も家をトロントで買う時は、まず頭に直感する事は一番高いところに買うと。で、一番高い所を買ってあるのだけでも、それでもこの前、不思議な事にその一番高い所に水が落ちていかずに溜まったのだけでも。

ま、そういう風にそのさっき言った様に、1938 年にチリの科学者が、何て言ったかな？彼の名前も・・・ルー（ノートをめくる）。ちょっと出て来ないですね。ま、いいや。あの、ちょっと待って下さいね。もうめちやくちや書いてあるから。ま、いいや。（カルロス ロドリゲス）

えっと、チリの科学者、天文学者でこの人が、彗星惑星がやって来ると。結局、この方はたぶんその、スイスフランクに書かれているその図形を何故か分かったかもしれないのですね。何故かと言ったら、1936年にポピュラーサイエンスという雑誌で彗星惑星というのがやって来ると。それで彼はコロンビア生まれで、チリにいたので・・・チリは天文が良く出来るのですね。高いアンデス登れば蒸気がなく。それで調べていたら、「冥王星、天王星の軌道、これどうもおかしい」と。「その外に、何かがあるはずだ」という事を発表したわけです。そして、それが1983年か6年のワシントンポストに発表されて、そして、それで皆彼の名前が挙がって、チリでは英雄になっていますけども。その、この人の言っている事がファティマの第3シークレットの事と一致しているわけなのです。

そのファティマの第3シークレットというのは1917年に、そのファティマの子供が MARIA 様からお告げを受けたと。で、これを1957年かな？、その前かも分からんけど、そのあたりだと思ふ。その時にポール23世法王がそれを読んで気絶したわけです。それで私が2000年に、このファティマの第3シークレットをバチカンから発表したから、それを読んだわけです。これは何も気絶する事も一つもないしと。そう思ったわけですね。

そしたらさっき言ったように、その、google sky が見えない様になっていると。それで地軸を調べていったら youtube で実際にそうだと。で2013年、2014年、2015年、2016年、地軸がだんだん狂っているわけ。だから、地軸がだんだん狂っている。どういう風に。だんだん激しく狂っているわけ。

結局6月21日が一番太陽の長い日でしょう？今年も6月7日。で春分、秋分の日も9月21日、3月21日でしょ。今年も違います。今年も9月16日。そうじゃないわけ。私達は今もう、頭でそう教えられてそういうデータがないから。で地球の軌道が今回2週間遅れているわけです。スピードが。来るべき所に行っていないわけです。何か前にあるわけです。何

かが。ニュートンのエネルギー永遠不滅の法則で、その、ブレーキがなければどこまでも行くでしょ、空中で。習ったでしょ？スーッと。コロッと行けば。ブレーキがなきゃどこまでも。だから、ま、地球もこういう風にクルクル回って、二週間遅れているという異常事態が発生しているわけ。

で、何故あれだけマヤ文明が、マヤカレンダーが有名になったかと言ったら、そのマヤを解析していったらどうもこの地球の終わりがやって来ると。それが、人間が科学的に考えて2012年12月21日だと。ところが、その最も短い日とその12月21日という事は無いわけなのです。実態は11月に発生したり、遅れて1月になったりしているわけ。クルクル回っているわけですね。

ところが、一般の人はそれが分からないから、そう信じ切ってそれで政府も「そうだ、そうだ」と。それで、あー今度またそういう事態が起こったって誰も信じない。オオカミ少年になるわけです。そういう事をやっているわけ。それで、その何故私がそこまで分かったかと言ったら、たった簡単なこと。毎日空見たらとってもおかしい現象が起こるし、そして地球のエネルギーが突然度が上がって1度になった。これは尋常じゃないと。ま、時間がありますからね。それで、天体調べていったら、さっき言ったように、この、いわば実はこの太陽系全部の惑星が、時空が狂い始めているという報告があるわけなのです。そしたら、結局プラネット X というオオカミ少年、何回も言うとその起こらない。ところが、実際それが今来てるみたい。

だからその今年の6月にオバマ大統領がね、政府としては全ての命を守る事が出来ないから、「君達が最低限の、その避難する水と食料は持ちなさい」と。「あなた見なさい」と、「マイアミの街は毎日その干潮、ね、満潮で街の中にいっぱい水が入って来るでしょう」と。で又、そのテキサスとかニュージャージー、それからニューオリンズの何て言ったかな？、バージニア。なんと水、水だらけ。海、水の海。こっちには報告なし。インドも大洪水。中国も大洪水。という事がファティマの第3シークレットに書いてあるわけ。

大体一年にこの地球は35の火山が爆発するわけ。一年間、あっちこっち35。ところが、今は1日で35発やっているわけ。一日で。ボンボンボンボンボン。だから、この前のネパールの事も全てこれに関係して来るわけ。中国でも発生するし、それからイタリアでも発生するし、南米でも…。結局、この地球というのは、もうとってもそのデリケートな卵みたいなもので、こう殻がただ重なっているから、ちょっとした力を受けたら皆フツとコトコト、コトコト動くわけ。

で、さっき言った中国版の西遊記に何と言っているって思います？孫悟空が三蔵法師を撃ち殺す時に。「私は今あなたを殺しますけど、あなたを捜して18万里、36万里の彼方でも探しに行きます」と。この今、惑星Xと言われているのは『ニビル』とあって、『ネメネス』と関係があります。これを怒りの神という。怒りの神。これが3600年周期なわけなのです。で、メソポタミアのシュメリアカルチャーは360。一回りのdegreeが360度でしょ？そして、ここは60と10を掛けて、使うわけですね。何時でも、何故か。で、3600年、36。で、この西遊記に何故か36万という3、6、0が入って来るわけ。だから、さっき言った様に道教、もう非常に古い長い歴史があって、ファティマの予言が今現在起こっているわけです。

なんと、1930年代にメトロポリスという映画があります。それが、全く同じシナリオで、アメリカで発生しています。ヒラリー・クリントンさんがこの前「アーツ」と震えてロボットみたいになっ

たでしょう？でまた、全世界で洪水が起こると。そういうシナリオがちゃんとあるわけ。デモクラシーのその映画の中の進行の中で。無声映画で。だから、今から20年前に私の子供に、そのビル・クリントンが出た時に、「これはあれだよ」って、「メトロポリスの事だよ」って。「これからなるよ」って言ったのだけでも。それがズーッと回っています。

だから、こういう風な世界的なカバーアップされているから。さっき言った、そのバチカンの事ちょっと言いましたけども、ミシュラー(ミトラ)という神。これは、この本源は教会ではアーメンと言います。アーメン。アーメンって言うでしょ？アーメンラー、エジプトの神の事です。目に見える事が出来ない太陽、これが最高の神でクリエイターになるわけ。それで、アーメンと言うけど、アーメンラー。だから、光の invisible、実はニミッタの事。Invisible light。だから、すべてが見通せるわけです。だから、この神は Osirus と言う事でも言われているけど、実はピラミッドのアイ、目あるでしょう？この事を意味しているわけ。

で、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教同じ教典なわけです。その原型は結局ミシュラー[英語発音]になっていくわけ。ミシュラーのその大神様は、クリエイターはディオーン、ディゴンと。魚が半分なってる神になって、それでカーチナルの宝冠を横から見たら必ず魚が口をこう開いているわけです。前と後ろがこういう風に。魚の、そのシュメリアの時のお坊さんは魚を被って紐を掛けているから、今でも法王とかそういう方が被ってる宝冠には紐が二つあるはずで、魚のヒレことです。という風に私たちは太古の世界から殆ど情報が隠されて、心が進化出来ない様になっています。本当の事を知る事が出来ないから。

ファティマの予言を超える、宇宙の神髄は慈悲そのもの、観音様

ところが、お釈迦様はこれをぶち破って、心の浄化という事の心が進化することを教えられました。これが、宇宙が望む私達に対する、私達が生きている、その何て言うのかね？、宇宙による恵みとか、心の進化だけを観ているわけです。で、心の進化とは何かと。最終的には慈悲になります。だから、慈悲の根源といえばやっぱり観音様。口ではなくそれが体験出来ます。瞑想していけば、私が言っている宇宙の神髄を観た時に慈悲そのもの。すぐ、「あ、観音様だ」と。だから、高神覚昇先生が般若心経講義でその文章の中にこうあります。『観音様はこの理想の宇宙を創られた』と。で私の先生に若い時に、「先生、その私はどうもその神様から助けられている、で、こういう、こういう現象がありました。」「それは君、観音様の事だよ」って。分からなかったけれども、やっぱり法随観とかずうっとやっていった時に、「アッ」と。遅い、遅い出来の悪い生徒だから時間掛かりました。

ま、さっきの言う様に、で、さっきオバマ大統領さんが言ったでしょう？6月に。7月にプーチン大統領が言いました。8月に、今マルケルチャンセラーが言いました。それから、すぐその後チェコが言い始めて、もう一つブルガリアが言い始めた。で、つい最近の情報によれば9月21日になんか大災害が起こると、ヨーロッパの方で。で、戦争を仕掛けるのかという事を聞かれてきたけど、違うと。戦争じゃないはずだと。だから、皆さんがね、まあ、ろうそくとマッチと新聞紙と水。というのはこれが来た場合には乾電池がきかないのです。

この宇宙では普通は二つの太陽で、70%は大体二つの太陽が回ってヴァイナリーシステム

で、一つの太陽っていうのは珍しいのです。時には三つの太陽。それが非常に長い周期で来るものだから、二つ。そのワルツみたいに踊っているから。それで、衝突はしないわけですね、二つの太陽は絶対に。ていうのは、磁石のポジティブとポジティブは絶対くっつかないでしょ？太陽も一緒なの。だから、その重力でいっぱい引っ張ると言っても、そのポジティブとポジティブは絶対にくっつかない様に、この太陽は近づく事が出来ないわけ。ただ、地球はネガティブのアースだから、その間にあるから、磁石が、地軸の磁石が弱まるはず、今弱まる。でそれも回転、何年に一回、何万年に一回回転するというのはこの事です。

で、だから、地球を守るこのマグネットが非常に弱くなっているから、さっき言った様に、焼き付く様に太陽洗が降りて、初めて46年間初めて、そのハイウェイの草が焼けたのですね。全て焼けて、あのカナダで。異常事態が発生しているわけ。で、台風もドンドンここに上がるのは、やっぱり私もその関係だと思えますよ。

という風に、もし何かがあった場合には、その街からいち早く逃げる、出る事。で、出て、山に入っていく事。山に入ってそこで収まるまで、3日か10日待つて降りて来る。車使っても無理、車は皆交通停滞で上がれないから。今でもこのウィークエンドで、40キロ交通停滞でしょ？だから、その田舎に住んでいる人は非常に楽ですけど、まず災害注意警報が出るでしょ？まず、老人、子供。その時いち早く準備して出る事。もしそういう状態が発生した場合です。ところが、こういう事を言えば馬鹿みたいに見えるけども、ジンバブエの大統領でも知っていると言うわけです。

だから、まあ、その地球的災害がこういう風に繰り返し繰り返し起こっているみたいで、これをお釈迦様はカラミティー、ドウッカ、苦。25の苦の中の一つに入ります。避けられない苦。ただ、超周期でやるものだから、私たちは三陸沖みたいに忘れちゃいますが、どうも今この地球の地軸が狂っている事みたら、ちょうどそのファティマの予言の様に、『赤いドラゴンが7つの角を持った竜がやって来る』と。

この小さい太陽は真っ赤で、その彗星みたいに尾を引いているわけ。というのはこの太陽は鉄の粉で囲まれているような太陽で、それで、私が見たのは5つか3つのその惑星しかないわけですよ、よく見て。何と今、「7つの惑星です」と。

という風な過去の文献、それからファティマ、総合的、科学的にこうパズルが合っていくわけなのですね。ただ、時間が9月23、来年の11月。時間帯がはっきり私には分かりません。ただ、それが、台風が上陸しない様に、離れていく可能性もあるけど、軌道的に。さっき言った様に、何故かこの地球のスピードが二週間遅れているわけです。スピードが。今の地球は行くべき所に往かないわけです。それが、どうゆう風にしてそれが分かるかと言ったら、星と地球の関係で分かります。星と地球の関係の位置で分かって行くわけです。

だから結局、地球が太陽の周りを8回回れば、金星と一致するわけですね。2920日。で、そういうものを結局マヤとかそれからインカとかそれからアズテックが持っているわけで、そのカレンダーを。何故そういう精巧なものを持っているかと。で、巨大な石で組んでいるわけでしょ？私が見たけれども、万里の長城とかこうインドとかずうっと回ったけれど、ああいうその失礼だけれども、私の目から見たら文明がとってもその遅れている様な所でそういう超精巧なカレンダーを何故持つ必要があるのかと。私たちは持ってない、そういうもの。その12年サ

イクルかそれぐらいで。その星座だって私たちは持ってないし。

ま、そういう知れば知る程、私達はほとんど隠されていると。で、その政府の方で分かっているみたい。どういう風にやるかっていう事。結局コンピューターのプログラムで K、I、L、L、キルって言ったかな？そのプログラム。それは自分で自分のコンピューターのプログラムを修正出来るらしい。だから、それを入れてしまえば、結局人間がやる事全てやってしまうわけ。

という風な、ただしコンピューターとロボットだから、幾ら優秀でも心の浄化は出来ない。この体だけ。だから、皆さんはこの体を持っているから、ここで、ま、少しでも良いです。無理しないで、一步一步。必ず次の世界に生まれる時に役立つし、また皆さんがパニックを起こしている時でも、こういう情報を持っていれば右往左往しないです。

私が一番苦しんだのは、なぜ大手メディアが一つも言わないし、NASA も言っても数字が全然合わないし、で調べて行って、その結局、宗教的文献、科学的実態と私が見たのと合わせたら、どうもその方向に走っていると。

それで結局、地球を守っているマグネットあるでしょ、あれが非常に低くなったらね、やっぱり動物が異常をきたすわけです。で、私もこの春とっても頭がおかしくてフラフラしたのですね。やっぱり、その実際にこの地球の磁場が非常に弱くなっているらしい。だから、突然今年は、突然恐ろしい殺人とかいっぱい起こるわけですね。何かコントロール出来ずに。私はそういう風に見ているし、また、心がそういう風に作用されるものだから、結局経済も落ちるはずです。正常に行かないから。その買う購買力も無くなるし。「どうでもいいや」という。

結局、正常に全てなっていれば、結局野球を観ても楽しいし、ワイワイジャンプして食べるにも行くし、旅行もするしで経済がクルクル回るけど、結局こういう風にその磁場が狂ったり、おかしな事が起こったら、何かもうやる気が無くなるかという風な感じで、全て心なのです。心。

だから、ここでしっかりと「何が本当であるか」という方向を見つけ出せば、さっき言ったお釈迦様の話ですね。本当の事を知る、体得する、が、この瞑想で一番の大切な事で、それが生きる、蜘蛛の糸のお話あるでしょう？芥川龍之介さんの蜘蛛の糸。「私だけが救われたい」と。これ愛の心が無いから、ポチーンと切れてしまいます、まあその警告というか。結局人の事ばかり考えたって、助けるにも行かないし。

愛の心持ちで瞑想していけば必ずや進歩します。で、自分がドンドン、ドンドン大きくなっていけばこの力で周りの人にも良いエネルギーを与えられます。というのは私実際に、その素晴らしいその法主から慈悲のエネルギーをボーンと与えられましたからね。なるほどと。

はい。良いですか？これで、どうでしょうか。



水源禪師法話集 58
(2016年9月17日 大阪合宿1日目)

2016年1月19日 発行

編集兼発行 一乗禅の会